



作文1部

元氣パワーのおむすび

八郎潟町立八郎潟小学校

三年

佐々木

歩

花

「お母さん、しおむすび作って。」

わたしは、白ごはんが大スキです。中でも、しおむすびが一番です。つやつやして、ピカピカに光ったおにぎりを見ると、うれしくなつてわらつてしまいます。ちよつぱりしよつぱいけど、食べているとだんだんあまくなるからです。でも、この前、お店で買ったしおむすびを食べたら、いつもとちがった気がしました。お母さんに話したら、おうちのごはんじゃないと言われました。そこではじめて、わたしは、おうちのごはんのしおむすびがスキなんだと思いました。

わたしには、おじいさんとおばあさんが二人いるけど、どっちのおうちにも田んぼがあります。毎年、田うえやいねかりの時は手つだいにいきます。去年からは、たねまきも手つだいました。まず、だしに土を入れます。全部で千まいい上あつて大へんです。次に、土をたいらにするのを

手つだいました。少しだったけど、こしがいたくなくなりました。たねまきは、だしをきかいにのせたり、土が足りなくならないようにたしたり、ハウスにはこんだり、いろんな仕事があります。わたしもだしをはこんだり、土をたしたりしました。みんなで力を合わせてがんばった後のごはんは、さい高です。だから、みんなのがんばりパワーまんたんのお米で作ったしおむすびはおいしいんだと思いました。

今、おじいさんは入いんしていて、ひいおばあさんもつえをつかないと歩けなくなりました。お母さんは、田んぼは大へんだけど、なくせないと行っていました。わたしもおいしいごはんが食べられるように、手つだいをがんばりたいと思います。ずうつと田んぼがつづくように。そして、元氣パワーいっぱいのはかほかのしおむすびをおじいさんやひいおばあさんに、みんなに食べてもらつて、ニコニコえ顔になつてほしいと思います。

